

わが村は美しく

上川町編

第十二回 奨励賞 辰巳農園



辰巳農園の人気商品「頑固オヤジのパンチコーン」を手にする辰巳眞さん。

お話をしてくれた人



辰巳農園
辰巳 裕亮 さん



大豆を焙煎して作る「上川大豆コーヒー」は、ノンカフェインなので子どもから大人まで味わえる。

北海道のほぼ中央に広がる「大雪山国立公園」。この北側に位置する上川町は、道内有数の観光地・層雲峡を有している。また、市街地にあるJR石北本線の上川駅は、層雲峡や大雪山系黒岳などを訪れる観光の玄関口となっていて、季節を問わず多くの人々が多く乗降している。

農林業を基幹として、米、麦、豆、そば、スイートコーンなどを生産している自然豊かな町。ここ上川町にある辰巳農園での取り組みはユニークだ。

代表の辰巳眞さんに代わって長男の裕亮さんが「上川町には多彩な農産物がありますが、ここで生産される米は、一〇〇%もち米なんです」と話してくれた。

上川町産のもち米を誇りに。日々もち米メニューを楽しむ。



地元特産のもち米を使った商品で、上川町と地域農業の魅力を発信！

全国二の生産量を誇る北海道のもち米は、うるち米の混入を防ぎ、純度の高いもち米を作るため、もち米だけを集団的に栽培する「もち米団地」という方法を採用している。上川町では昭和末期からもち米団地を形成して生産しているそう。

「もち米は、正月やハレの日の食べ物に使われることが多く、普段から食べていただくことも大事だと思い、二〇二三年に『もちごやママ』をオープンさせました」と裕亮さん。

「もちごやママ」の主力商品は、大福。自家栽培の米や野菜を中心に、原材料はほぼ上川町産に特化している。大福は、豆、よもぎ、白もち、かぼちゃ、大豆あんコーヒ、大豆あんビーツの六種類。あんこはつぶあんのほか、大豆(きなこ)あんとの組み合わせも面白い。

この大福には歴史がある。裕

第11回コンクール



参加しよう、広げよう、いいもの伝えよう
「わが村は美しく－北海道」運動

上川町へは、JR石北本線上川駅下車。周辺を散策するなら、旭川駅で駅レンタカーを利用すると便利。層雲峡温泉には多数の日帰り入浴できる温泉がある。また標高1000mに佇む愛山溪(あいざんけい)温泉は、5月中旬から10月中旬まで入浴が可能。観光情報は、上川町のHPなどを参考にしてください。[もちごやママ]のfacebookやInstagramで最新の情報が得られます。

お問い合わせ／もちごやママ ☎080・9001・5406



青い壁が目立つ「もちごやママ」の外観。入り口にある店名サインのイラストは佳子さんが描いたもの。



「もちごやママ」のメニューを紹介する佳子さん。おしるこや雑煮などを一年中食べることができる。



六種類ある大福。ピンク色の大福は、ピーツの餅できな粉のあんを包んだもの。

上川町産もち米のおいしさが一年中堪能できる雑煮。五目おこわとのセットメニューが人気。

地元の北海道上川高等学校の生徒が授業の一環として大福づくりを体験。

「もちごやママ」の店内。大きな窓からは四季折々の大雪山がながめられる。

六次化の部分ばかりが目立って、されがちだが、農業へのこだわりも人一倍だ。眞さんの作るスイートコーンは「頑固オヤジのパンチコーン」というネーミングで販売。これは当時眞さんのヘアスタイルがパンチパーマだったことに由来しているそうだ。大豆の

こだわり栽培のスイートコーン、大豆コーヒーも地域特産品に

亮さんの母・明美^{あけみ}さんが仲間と二十年ほど前から大福を製造し、地元菓子店で「ハッピー大福」の名で販売していたが、菓子店が閉店へ。明美さんの「大福工房をつくりたい」という要望に父の眞さんが応え、そこに長女の佳子さんの「単に大福を売る場所ではなく、カフェにしたい」という提案が重なり実現。栽培担当、大福製造担当、カフェ担当と家族の思いがつながり「もちごやママ」が誕生した。辰巳農園を舞台にした家族の物語がとてもしてきた。

「地元の農地を守っていきたい」という眞さんの思いから地元の農家と農業法人菊水フューチャーズ(株)を二年前に設立し、裕亮さんが代表を務めている。「もちごやママ」を拠点として地域の子どもの餅つき体験や、地元高校生の大福づくり体験など、町内にも新たな交流を生み出している。「地元」にそば屋さんがいないから次は「そば」かな」とポツリと佳子さんが言った。辰巳さん家族の夢は広がるばかりだ。

東京の大学を卒業後にUターン就職した裕亮さんが、直後に大豆を使ったコーヒーを手掛け、「上川大豆コーヒー」の商品化に成功した。「町内産のそば粉も良質で、『大雪そば』として流通しています。町内にはそば屋がないですが、旭川や札幌で上川町産のそば粉を味わうことができます」と裕亮さんがアピールしてくれた。

くずやもち米の米ぬかなどを発酵させた自家製「有機質ポカシ肥料」のおかげで甘みの強いスイートコーンとして評判だ。



「わが村は美しく北海道」運動は、北海道の農林水産業をより豊かにするために、2001年にスタートしました。2年に1度コンクール形式で優秀な活動を表彰しています。コンクールは1年目に優秀賞、奨励賞を表彰し、2年目に優秀賞から大賞を決定。地域の資源を掘り起こし、地域の活力とすると同時に活動を広くアピールし、豊かな北海道を未来へと受け継いでいくことを目的としています。

お問い合わせ／国土交通省 北海道開発局 農業水産部農業振興課 ☎ 011・709・2311 (内線5685)

